

宗
大正十年九月九日

宗務總裁



内事務官



立案
大正十年九月九日
決裁
大正年月日

大臣

次官

從四位勳四等秋山惣卿 聞旨
叙位一件

大正十年九月九日
宗報報告
官內省

大正
九月九日

宮内省

從四位勳四等秋山恕卿特旨敍位一件
右謹
テ
裁可ヲ仰ク

大正十年九月十八日

内閣總理大臣原敬



内
閣



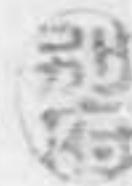
第	號
案起	大正九年九月十七日
裁可	十年九月十八日
決定	年 月 日
行施	年 月 日

内閣總理大臣

内閣書記官長



内閣書記官



從四位勳四等秋山恕卿ハ別紙内務
大臣上奏ノ通功績顯著ナル者ニ
候處目下病氣危篤ノ趣ニ付特
旨敍位件上奏相成然ルヘシ

内

閣

特旨ヲ以テ位一級被進

從四位勳四等秋山恕卿
從四位勳四等秋山恕卿

敍正四位

敍正四位 従四位勳四等秋山恕卿

右者明治二年犬山藩錄事拝命以來諸官ニ歷任シ十五年和歌山縣警務長ト為リ尋ト同縣及兵庫縣書記官福島山口二縣知事ニ任セラレ多年在職地方政治ニ盡瘁シ功劳甚カヌ三十二年退官後專ラ公益事業ニ盡力シ濱川改修竝兵庫運河開鑿事業ヲ

内

閣

企劃ニ努力經營ニ克ナ其事業ヲ完成シ又神戸市立圖書館，建設ニ盡力シ同市，事業ニ貢献ニ或ハ鳴尾競馬俱樂部，會長ト為，馬正改良獎励ヲ圖ル等公益，為盡シタル勘カヌ特ニ濱川改修及運河開鑿事業，交通運輸若ハ治水上ニ大ナル利便ヲ興ヘタハ世齊シテ認ケル慶ミシテ其功劳没スヘカラサルモノト認ム然ニ目下病氣危篤ニ陥ルニ付此際特ニ其ノ

功勞ヲ思召サレ願書ノ通位一級進メラレ
度謹テ

奏入

大四十年九月十七日

内務大臣 底次竹二郎

内

閣

めくれず

内位第三六號

案起
十年九月十日

裁可
十年九月六日

決定
年月日

病氣卷

内閣書記官

内閣總理大臣

内閣書記官長



從四位勳四等秋山恕卿ハ別紙内務大臣上奏ノ通功績顯著ノ者ニ候處早下病氣危篤ニ付特旨敍位ノ件上奏相成然ルヘシ

内

閣

特旨ヲ以テ位一級被進

從四位勳四等秋山恕卿

敍正四位

病氣危篤

内位第三六號

案起十年九月十六日

裁可快定年月日行施年月日

内閣總理大臣

内閣書記官長

内閣書記官

從四位勳四等秋山恕卿ハ別紙内務大臣上奏ノ通功績顯著ノ者ニ候處且下病氣危篤ニ付特旨叙位件上奏相成然ルヘシ

從四位勳四等秋山恕卿

内閣

特旨ヲ以テ位一級被進

從四位勳四等秋山恕卿

敍正四位

後四位勲四等 秋山 惇 卿

敍正四位

右ハ明治二年犬山藩錄事拜命以來諸官ニ歴任
シ十五年和歌山縣警部長ト為リ尋テ同縣及兵
庫縣書記官福島山口二縣知事ニ任セラレニシ年在
職地方政治ニ盡瘁シ功劳尠カラス三十二年退官
後專テ公益事業ニ盡力シ湊川改修立兵庫運
河開鑿事業ヲ企畫シ努力經營克ク其ノ事業
ヲ完成シ又神戸市立圖書館、建設ニ盡力シ同

内務省

市、事業ニ貢献シ或ハ鳴尾競馬俱樂部ノ會長
トナリ馬匹ノ改良獎勵ヲ圖レル等公益ノ為ニ盡ス
所尠カラス特ニ湊川改修及運河開鑿事業ノ交
通運輸若クハ治水上ニ偉大ノ利便ヲ興ヘタルハ世ノ
齊シク認ムル所ニシテ其ノ功勞沒スヘカラルモノト認
然ルニ同下病氣危篤ニ隔レルニ付此際特ニ其ノ功勞ヲ
思召サレ頸書、通位一級ヲ進メサセラレ度謹テ奏ス

大正十年九月十七日

内務大臣 床次竹二郎



裏面白紙

内務省
(鬼頭押)

190

別紙 七六五

秋山 惣卿

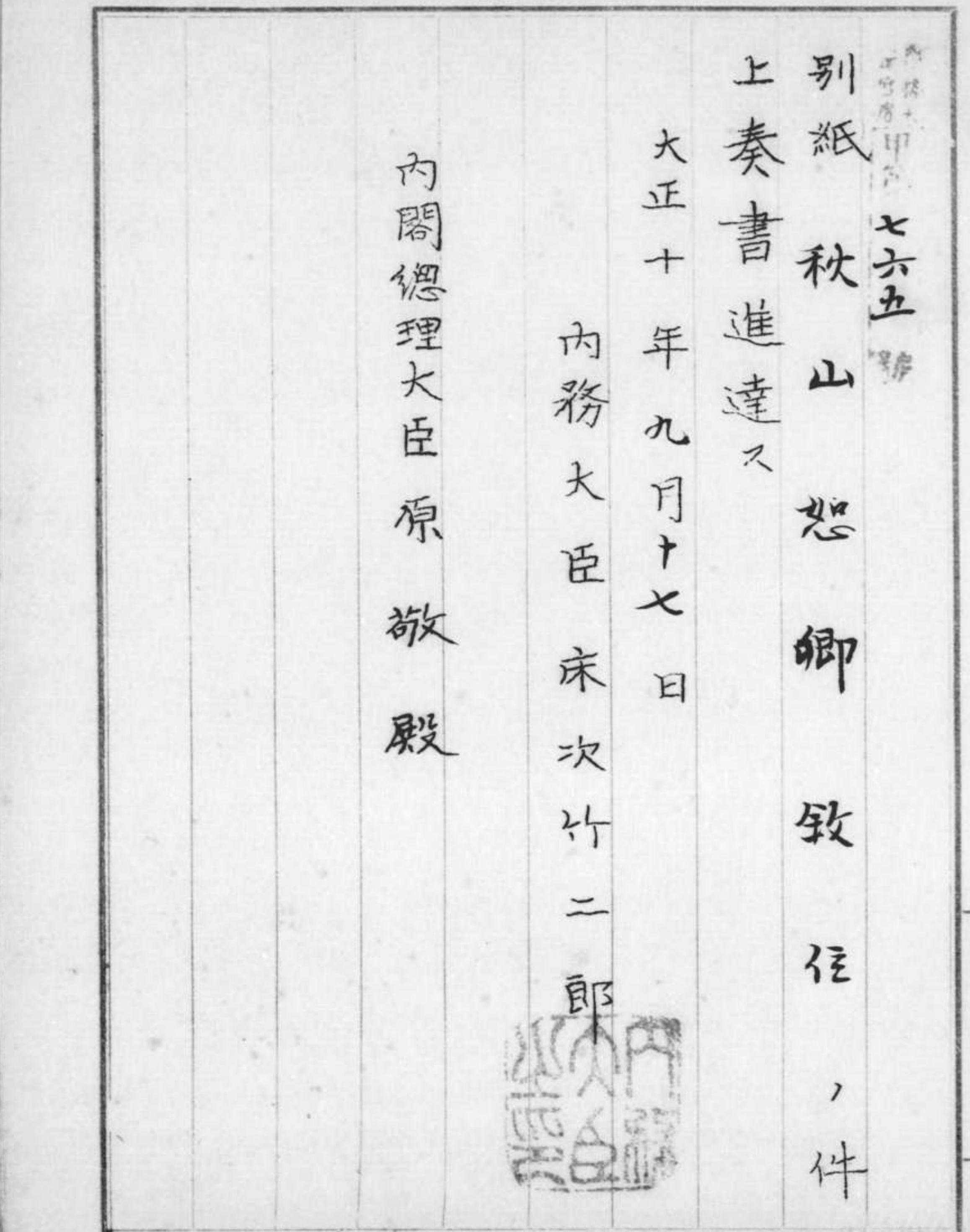
致仕 件

上奏書 進達久

大正十年九月十七日



内閣總理大臣原敬殿



立案 大正十年九月六日
決裁 大正年月日

十九年六月

立案 大正十年九月六日

決裁 大正年月日

宗政課當直

審査記官

案

特旨ノ以ニ位一級被進

從四位勲四等秋山惣卿

叙正四位

從四位勲四等秋山惣卿

宮 内 省

右 之通本日 宣下相成候條此旨及傳達
候位記立諱令追付又回送候也

大正十年九月十八日

内務大臣

宗政課當直

内
閣
大
正
九
年
六
月
廿
二
日
一
ニ
ア
ル
事
無
い
志
仰

右位記並辭令及回送候條交付方御取計有之度候也

大正九年六月廿一日

宗秩寮總裁侯爵井上勝之助

内閣文書

